記者発表

平成２９年２月１０日
北上川ダム統合管理事務所

四十四田ダムの魚のへい死に関する情報（第２報）

盛岡市内の四十四田ダムの直下流にて、２月７日（火）に**フナ及びコイ**などの**へい死**が確認されました。へい死の原因調査のため、岩手県内水面水産技術センターに**へい死**した魚の検査を依頼しておりましたが、検査の結果、**コイヘルペスや感染性の病気は確認されません**でした。

また、発生後、四十四田ダムでは、監視体制を強化し、ダム周辺の巡視を行い水質分析を継続して実施しておりますが、新たなへい死は見つかっておりません。また、水質調査の結果につきましても、現在のところ異常はありません。

四十四田ダムでは、引き続き**ダム周辺の巡視及び水質調査**を行います。

これまでの状況：

○平成29年2月7日13時30分頃､四十四田ダムの設備点検の請負業者が魚のへい死を発見。（体長10cm前後のフナと20センチ前後のコイのへい死。目視では、約300匹程度）

○へい死した魚を回収し、岩手県内水面水産技術センターへ検査を依頼。

○四十四田ダム湖内の巡視を継続実施。その後ダム湖内での魚のへい死は確認されておりません。

○ダム湖内及び直下流の水質調査を継続実施。現在のところ、異常は確認されておりません。（水質検査項目：pH,BOD(※),COD,SS,DO,ｶﾄﾞﾐｳﾑ,全ｼｱﾝ,鉛,ヒ素,銅,ｱﾝﾓﾆｳﾑ態窒素）　※BODについての結果は２月１３日頃になります。

○岩手県内水面水産技術センターでの**検査の結果は、コイヘルペスも含め感染性の病気は確認されません**でした。

当面の対応：

○引き続き、ダム周辺の巡視及び水質調査を行います。

○へい死した魚を発見した場合は回収し、岩手県農林水産部水産振興課の指導のもと、処理します。

お願い：

○四十四田ダム周辺で魚のへい死を発見した場合は、下記の問い合せ先へ情報提供をお願いします。また、へい死した魚は、絶対にダム湖外への持ち出しは行わないようお願いします。

北上川ダム統合管理事務所ホームページ http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/
※発表記者会： 岩手県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所
副　所　長　山田光雄
管理第二課長　峠舘秀男
盛岡市下厨川字四十四田1 TEL 019-643-7831